

会 議 録

1 会議名

令和4年度第5回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 諮問事項（公開）

○ 新市建設計画の変更について

(2) 報告事項（公開）

○ 「（仮称）地域独自の予算」の概要（案）について

(3) 自主的審議事項（公開）

1) 本日の進め方の説明

2) 分科会

3) 本日の審議結果について

3 開催日時

令和4年8月30日（火）午後6時から午後7時55分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：秋山 茂、飯塚幸太郎（副会長）、井澤 愛、金井 正、杉田榮作、
千町健実、高野ゆかり、船崎 聡（会長）、本城敏男、三浦正郎、
横山明夫（欠席3人）

・事務局：中部まちづくりセンター：小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容

【藤井係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

- ・会議録の確認者：杉田委員

次第 2 議題「(1) 諮問事項」の「新市建設計画の変更について」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料 1、別紙、参考資料 1、参考資料 2 に基づき説明

【船崎会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

では、本議題について伺う。

本議題の諮問内容について、意見を求める。

(発言なし)

事務局より、継続して審議をする必要がなければ、本日答申をいただきたいとの説明があった。本日答申する方向で進めてよいか。

(よしの声)

では、答申について確認する。

本議題について、「地域住民への生活に支障なし」と答申してよいか。

(よしの声)

諮問内容については、「地域住民への生活に支障なし」と答申することに決する。

次に附帯意見についても、「なし」としてよいか。

(よしの声)

附帯意見は「なし」と確認した。

以上で次第 2 議題「(1) 諮問事項」の「新市建設計画の変更について」を終了する。

次に次第 2 議題「(2) 報告事項」の「『(仮称) 地域独自の予算』の概要(案)について」に入る。事務局より説明を求める。

【小林センター長】

- ・説明

【船崎会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

8月22日に開催された地域協議会会長会議で市長とやり取りしたところ、基本的にはまだ「案」であり、正式に決定したものではないとのことである。

市長には、地域活動支援事業のあとをしっかりとやってもらわなければ、尻切れトンボになってしまうと伝えた。

30～40年前にはフラワーロードなどいろいろな支援事業があった。人材育成についても、青年会や子ども会など、全国的にも評価されてきたが、これらの事業は今は全くなくなってしまった。安塚では、40年近く前に東京の後樂園球場に雪を積んでアピールをしたことがある。雪室でコーヒーなども出しているが、尻切れトンボになっていて全国的にあまり知られていない。

市長にそういった話をして、市長が変われば事業がなくなるのでは困ると伝えた。市長は、できる限り、人材を確保してやりたいと思うと言っていた。

自分が一番心配なのは、計画をするのはよいが、それがちゃんとできるか否かということである。これまでを見ていると、10年くらい実施して終了・打ち切りというような取組が市政の中では多かったように思う。

先ほど新市建設計画の議題もあり、今後は第7次総合計画があるため、地域協議会にも説明があると思う。「地域独自の予算」については、ちゃんとできればよいことだと自分も思っているため、行政側もしっかり頑張ってもらいたいと思っている。

以上で次第2議題「(2) 報告事項」の「『(仮称) 地域独自の予算』の概要(案)について」を終了する。

次に次第2議題「(3) 自主的審議事項」に入る。最初に「(1) 本日の進め方の説明」について、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・説明

【船崎会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

以上で次第2議題「(3) 自主的審議事項」の「(1) 本日の進め方の説明」を終了す

る。

次に次第 2 議題「(3) 自主的審議事項」の「2) 分科会」に入る。

各分科会で審議を行い、終了後に結果を報告していただく。

－ 分科会 (35 分間) －

会議を再開する。

次第 2 議題「(3) 自主的審議事項」の「3) 本日の審議結果について」に入る。

最初に「地域交流分科会」より報告願う。

【三浦委員】

「地域住民の交流の促進に関する分科会」の報告を行う。

8 月 26 日に、各団体の代表より集まっていたいただき、自分たちが検討してきた内容について意見交換会を行って、こういう考え方でどうかということを確認した。

意見交換会に呼んだ団体としては、北部・中部・南部の町内会長会の各会長、老人会の代表を各地区から 3 人、稲田小学校と富岡小学校の PTA 会長である。ただ町内会長と老人会長が 1 人ずつ所用で欠席となったため、当日は町内会長が 2 人、老人会長が 2 人、PTA 会長が 2 人の 6 人が参加して、分科会メンバー 8 人と意見交換を行った。

最初は、各団体が今、どのような取組みをしているのかについて報告をいただいた。

ある町内会長からは、サマーフェスティバルや盆踊り等、近隣町内にも声をかけて取組んでいるとの話があった。

また老人会は、輪投げやグラウンドゴルフ、ウォーキング、卓球、編み物教室、成人講座等いろいろなことを行っているとのことで、かなり活発な感じを受けた。

また各校 PTA からは、学校行事として運動会や文化祭は行っているのだが、最近では新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して行っているため、なかなか盛り上がりがないとの話があった。

だが稲田小学校については、創立 150 周年記念ということで昨年からは牛乳パック灯籠作りを取組んでいて、かなり多くの人たちの参加があり、灯籠をグラウンドに並べる等、非常に盛り上がったとの話があった。今年も取組んでおり、これに関連して花火等を打ち上げるとの話もあった。稲田小学校では地域と一体化して、活発な取組みをしているとの報告があった。

次に、地域協議会では新道地区を挙げて交流するイベントを検討した結果、グラウンドゴルフにこだわるわけではないのだが、すでに老人会が新道地区全体で行ってい

るということもあり、グラウンドゴルフであれば、初心者でも子どもや高齢者でもできるため、分科会で検討してきた内容を説明して、令和5年度に実行委員会を立ち上げて開催したいと提案をした。

この提案について、「お金の問題はどうなるのか」「グラウンドゴルフはやったことがないのだが、どういうルールなのか」といった質問が出た。

また、「グラウンドゴルフは行っているところと、そうでないところがあるため、なかなか参加は難しい」といった意見もあった。

子ども会からは、「障害者の方が行っているボッチャであれば、それほど面倒ではなく、多くの人に参加できるのではないか」との意見もあった。

いろいろと時間をかけて議論したのだが、何をやるのかについては絞りきることができなかった。

地域交流をすることについての必要性について参加者に確認したところ、「よいことであるため、やっ払いこう」ということで、基本的な考え方については合意を見ることができた。

結果的に、意見交換会を受けて、地域協議会で改めて検討することとし、団体については、新道地区全体として交流するにはどのような種目が適しているのかを検討してもらい、しかるべきときに、改めて意見交換会等を開催するということで終了した。

町内会長会の米山会長が当日は欠席したのだが、本人より「プロジェクトを作っではどうか」との文書をいただいた。「新道地区地域活性プロジェクト」という名称で、目的としては、すべての世代が参加できるように、子ども会・青年会・老人会・婦人会、各町内会すべてに行き渡るような、プロジェクトを作っで実行したほうがよいのではないかと、非常によい提案があったため、それを中心として今後は話し合いを詰めることとした。

本日の分科会では、意見交換会の話を含めて、今後どうするのかについて議論した。

いずれにしても、各団体としても、新道地区全体で何かを行うことは初めてであるため、基本的な考え方はよいとのことだが、なかなかすぐには何かの種目で一緒に行うというわけにはいかなかった。そのため、意見交換会等を何回か重ねながら進めていくこととした。

提案のあったプロジェクトについても、どこかで立ち上げようということで、先ほどの分科会でも話をしたのだが、先日の意見交換会に声かけをした8人の他に、次回

は新道区運動推進リーダーと婦人会長からも入っていただいて意見交換会の続きを行いたいと思っている。プロジェクトの具体的な立ち上げ方について、来月の分科会で議論をして、さらに踏み込んでいきたいと思っている。

【船崎会長】

次に「新道の道分科会」より報告願う。

【金井委員】

「新道の道分科会」の報告を行う。

本日の分科会の中で、先般、報告したとおりの役所関係等の課題はあるのだが、分科会としての優先順位をある程度絞った。

内容としては、国道 18 号線を優先的にやりたいということである。理由としては、新道地区は南北に長いため、共有できる部分をやっていきたいということと、比較的、行政の感触がよかったという部分がある。

併せて、河川敷等にも花を植えられないかを考えている。現在、調査の段階が終わったのだが、具体的に進めるという中で、上越市内にも成功した事例や失敗した事例等があると思う。儀明川の桜の守る会や、同じ河川敷でもコスモスを植えている会等の意見を拝聴し、さらに調査をして、一段と実行に近づけたいと思っている。

併せて、蛇足なのだが、昨日、越後中里で行われたツールド妻有というイベントに行った。最高齢が 80 歳、最低年齢が小学校 2、3 年で、全国から約 800 人が集まった。お祭り騒ぎであり、非常に盛大だったとのことである。

ツールド妻有は、以前は毎年行っていたのだが、新型コロナウイルスの影響により、3 年ぶりの開催であった。町を挙げて、沿道は皆拍手してくれるような感じであり、外から来た人も非常に心が温まったのではないかと思う。あれは多分、成功例だと思う。

仕切っているのは、いわゆる「おたく」で、非常に一生懸命にやっていた。そのような事例を見て、素晴らしいと思って帰ってきた。

【船崎会長】

両分科会の説明について、質疑を求める。

【金井委員】

先ほどの報告にあった、儀明川やコスモス等、リーダーや団体に知り合いがいれば紹介してほしい。

そこをつてに、いろいろと話を聞きたいと思っている。

【船崎会長】

他に何かあるか。

(発言なし)

以上で次第 2 議題「(3) 自主的審議事項」の「3) 本日の審議結果について」を終了する。

次に次第 2 議題「(4) その他」に入る。

本日の議題等に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で次第 2 議題「(4) その他」を終了する。

最後に、次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・次回の協議会について説明

【船崎会長】

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：9月27日（火）午後6時から 新道地区公民館 多目的ホール
- ・内容：自主的審議事項

最後に何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。